

平成30年度 学校自己評価システムシート(山口学院 埼玉平成高等学校)

目指す学校像(ミッション)	進路実現に必要な学力や知識、厳しい社会を生き抜く資質や能力を身につけさせる
本年度の重点目標	1 AI時代に生き抜く力を育てる 2 「主体的・対話的・深い学び」への教育基軸のパラダイムシフトの実施 3 挨拶や礼儀をはじめとする基本的な生活習慣と思いやりの心を育む 4 一人ひとりの生徒に高い志(夢)を持たせ学力や教養を身につけさせる 5 より快適な教育環境づくりを推進する 6 募集定員確保及び質の高い生徒の獲得を目指す 7 健全なる学校運営を行う

評価	達成度
A	ほぼ達成(8割以上)
B	概ね達成(6割以上)
C	改善の兆し(4割以上)
D	不十分(4割未満)

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 3 月 1 5 日 現 在 )				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価指標	経過・達成状況	達成度	次年度の課題と改善策
1	・論理的なディベートやプレゼンテーションが十分にできる能力を身につけさせることを全校をあげて取り組む  ・しっかりとした自己表現を身につけている生徒が少ない	次世代が求める人物像	・日本語で表現できる能力を高める為に対策授業を実施して日本語検定を全員で受検 ・英語力を高める為に対策授業を実施して英語検定を全員で受検 ・毎週漢字・英単語テストを実施 ・外部講師を招き、言葉を大切にすることを学ぶ講演会を実施 ・授業での積極的な発言を促す指導	・各検定の合格者数 ・講演会が意欲喚起に結びついたか感想文で確認	・日本語検定は準2級に10名、3級に75名合格し、3年生の準3級以上取得率は56.1%であった ・英語検定は準1級に3名、2級に16名、準2級に31名、3級に101名合格した3年生の3級以上取得率は58%であり、全校生徒の英検級取得率は76%であった ・言葉を学ぶ意義について日本語検定協会より日本語検定公認講師の河本和美様をお招きして、「テレビも悩む日本語」と題して正しい言葉を発信することの重要性を学んだ	B	・3年間で個々の目標とする級に一人でも多く到達するように指導を徹底する ・検定対策の授業を一層充実させる ・生徒が積極的な発言を行う機会を多く設定する
2	特別選抜コース 特別進学コースⅠ 特別進学コースⅡ 進学コース それぞれのコースに適した授業法を開発して授業力を向上させる	教育基軸のパラダイムシフトの成果	・新学習指導要領対応の授業の見直し ・コース制の充実と授業時数確保 ・入学予定者の学習指導の充実 入学手続き後中学総復習の課題を配付確認用の到達度テストを実施 再度モレ、ヌケの確認課題を配付入学後確認テストを実施 ・家庭学習時間の確保 隙間時間の活用(1日2時間) クラッシーの導入 ・朝食を摂らせる食育指導 ・能動的授業の推進 アクティブラーニングの導入 ・教科会の実施 ・「感動」、「知的好奇心」を与える指導 ・科学的視野を広げ論理的な思考を育てるために校外施設の活用 ・ICT教育の研究 ・公開授業の実施 ・自己評価シートによる達成目標の設定 ・授業評価チェックシートの活用 ・チューター制度の導入を検討	・意欲が向上して家庭やすきま時間での自学時間が増加したか ・教員が授業力向上に努めているか自己評価シートを実施 ・生徒が授業に満足しているかCS度チェックシートの実施 ・各コース毎のデータを基に伸長状況を確認 ・文化祭で研究発表ができたか	・合格手続き後に宿題を課して継続的学習を促し、3月21日入学予定者に到達度テストを実施して宿題の結果を確認した ・4月12日実施のスタディサポートにむけて宿題を配付し、学習の習慣化を課した ・各教科で授業法の研究が活発に行われた ・「科学調べ隊」を発足し、日本科学未来館で調べ学習を行い、文化祭でプレゼンを行う企画を実施した ・高大連携で、中部大学井上徳之教授よりweb回線による指導のもと、「透明骨格標本」の作製をした ・教員研修会で能動的学習の実践例として模擬授業を教員が体験した ・教員の自己評価シートを基に校長が面談を実施し、次年度の授業に活かす取り組みが行われた ・チューター制の導入を決定し、次年度実施に向けて準備が開始された	A	・新入生に対して早い時期に入学後の準備を行わせて不安を払拭する ・授業力向上に向けての教科研究会を継続して行う ・対話型授業、協調学習等のアクティブ・ラーニングを活用して生徒参加型の授業を研究する ・ICT教具の活用方法の研究を各教科で継続して行う ・知的好奇心を育てる企画を立案する ・チューター制を早期に開始して、学習習慣の定着化を実現する ・進路実績を高めるためにコースの再編を検討する

実施日:平成31年3月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等
「言葉に強い生徒を育てる」という教育が徐々に根付いていると思う。
検定では対策授業を充実させ、一人でも多くの生徒が上の級に合格できるように変わらず指導をお願いしたい。
生徒が興味を持ち、やる気にさせる講演会の企画をお願いしたい。
「科学調べ隊」や「高大連携」とやる気のある生徒を育てる企画を継続してお願いしたい。
私学に入学させたのは塾に通わなくても学力を上げてもらえると考えての事。チューター制のように学習する環境を整えてもらえるのは嬉しい。
授業等、先生方が色々と工夫してもらっている事が良く分かった。

3	校訓の「創造」・「自律」・「親切」をより具現化するため、目指すべき生徒像を ・「熱き心」を持ち ・「品位とけじめ」のある ・「思いやり」のある 生徒と設定し、指導を徹底する	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・純粋(Purity)、礼儀(Propriety)、時間厳守(Punctuality)の3P主義を生徒指導の柱とする</li> <li>・思いやりの心を育成</li> <li>・失敗から学ぶ姿勢の育成</li> <li>・言葉遣いやマナー指導の徹底</li> <li>・個々が主役となれる場の設定</li> <li>・自転車の乗車マナーの向上</li> <li>・教育相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒および保護者が生活習慣の確立及び向上を実感できたか</li> <li>・教師と生徒と保護者の信頼関係が築けているか</li> <li>・学校に寄せられる苦情への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルームや学年集会等で、基本的な生活習慣(食育含む)や人権についての指導を行った</li> <li>・SNSによる諸問題発生予防として外部より講師を招き、全体への指導を徹底した</li> <li>・挨拶や時間厳守に関するアンケートで、やや向上しているとの結果が出た</li> <li>・通学時の交通事故0が目標であったが、自転車での事故が1件発生した</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育を一過性にせず継続的に指導を行う</li> <li>・挨拶は教員自らが積極的に行い、お手本となる</li> <li>・SNSに関する諸問題が大きな問題に発展しないよう日頃からの指導を徹底する</li> <li>・安全教室を通して、通学時の交通事故0件を実現する</li> </ul>	SNSの件は社会問題になっている。家庭の協力が不可欠で、保護者にも学ぶ機会をお願いしたい。  薬害についてもティッシュ配りの様な「お試し」からの事例も聞く。継続して専門家からの講演をお願いしたい。
4	生徒個々の進路目標を実現するため、補講・補習を一層充実し、より高い進路目標を掲げるよう指導する	進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次より第1進路希望の実現への意識づけ</li> <li>・一流、本物に触れさせる機会をもつ</li> <li>・国公立・私立難関大学希望者を増やす</li> <li>・安易な学校選びをさせない指導</li> <li>・補習・補講の充実</li> <li>・個人カードを活用してきめの細かい指導</li> <li>・進路指導室からの情報発信の拡充</li> <li>・各ガイダンスや講演会から進路目標実現に向けての徹底指導</li> <li>・夏期休業中サマーセミナー(1・2年)とセンター合宿(3年)の充実</li> <li>・国家・地方公務員試験対策指導の充実</li> <li>・高大連携の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の進路実績を上回る数字か</li> <li>・補習や補講が充実したか</li> <li>・進路希望調査で難関大学への希望者が増加したか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター入試利用者が189名であった</li> <li>・模擬テストの結果を分析して、きめ細かな指導に役立てた</li> <li>・入試改革に備え、1年生より随時ポートフォリの導入を始めた</li> <li>・通年補講や補習の拡充を図った</li> <li>・サマーセミナーやセンター合宿の内容を検討してより効果の高い手法を研究し、来年度の合宿に備える</li> <li>・進路の日をより具体化して、1年は職業調べ2年生は進路目標設定に役立つ企画を立案して実施した</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験はコースの特性に合わせたものを実施し、事後指導を充実させる</li> <li>・サマーセミナーやセンター合宿での成果を検証し、より効果の高い手法を確立する</li> <li>・保護者を巻き込んだ進路の日を企画する</li> </ul>	指定校で合格した生徒もセンター入試を受験するようにとの指導はありがたい。合格後に勉強をしなくなると、入学してから困るのは本人なので助かる。  「進路の日」に保護者の参加が可能であることを周知して欲しい。
5	学習環境の改善に取り組み、情操教育を充実させ、校内の教育環境の充実を目指す	更なる快適な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の環境整備</li> <li>・美化意識を高める指導</li> <li>・一流、本物に触れさせる機会</li> <li>・文楽鑑賞教室(希望者)</li> <li>・茶道体験教室(第3学年全員)</li> <li>・歌舞伎鑑賞教室(第3学年全員)</li> <li>・芸術鑑賞会(全校生徒)</li> <li>・情操教育としてヒロ・ヤマガタの版画を校内に展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒および保護者へ校内環境への満足度をアンケートで確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞会では「狂言」を鑑賞した後、人間国宝の山本東次郎氏より『言霊』についてのお話もいただいた</li> <li>・図書館の蔵書の整理を行い、日々生徒の利用率を向上させた</li> <li>・情操教育の一環として行った版画や色紙の掲示をしている</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の美化意識を高める指導を行う</li> <li>・図書館で調べ学習が行えるように整備を行う</li> <li>・一流の物に触れさせる機会を設ける</li> </ul>	一流のものに触れさせる教育は感性が磨かれるので、是非継続して欲しい。
6	生徒募集活動を活発に展開し、質の高い生徒の入学を目指す	意欲のある生徒を募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員で中学校、塾訪問を実施</li> <li>・説明会で本校の教育内容と元気な学校づくりをアピール</li> <li>・中学校へ講演会や出前授業の講師を派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験者数は増加したか</li> <li>・過去年度の入学者の地域や特徴を分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員で塾や中学校を訪問し、本校の教育活動を広めた</li> <li>・広報活動を積極的に展開して本校の知名度を上げた</li> <li>・中学校からの講演依頼(模擬授業含む)を受け、本校の周知に努めた</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化、厳しい経済状況下での募集に対し、継続して本校をPRして行く</li> <li>・中学校や塾の要望を来年度の募集に役立てる</li> <li>・入試システムを再考して、受験者数の増加を企画する</li> </ul>	ネット出願は今一般的になって来ている。本校でも導入をお願いしたい。  塾や中学校訪問を繰り返して行っていたと関係者から聞いた。
7	教員一人ひとりの適性を活かした組織づくりを行い、明るい職場環境を目指す	組織の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントに関する意識を高める</li> <li>・対生徒の人権を尊重する</li> <li>・対教員の人権を尊重する</li> <li>・職員室を整理整頓し、明るく会話のし易い環境をつくる</li> <li>・新人の採用を順次行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会は充実しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長より年度当初にグランドデザインを示した中で、人権を守るよう指示があった</li> <li>・教員自身が健康に留意するようにと教員研修会を実施した</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員個々が更なる資質向上に努める</li> <li>・生徒への接し方について研修会を今後も継続して企画する</li> </ul>	メンタルヘルスの観点から、先生方も疲弊している。学校には精神面でのバックアップもお願いしたい。